

マジプロ最終発表会！7/9 春香山ゆり園 (2017/07/01)

ツイート

小樽商科大学(緑3)が開講する正課科目・社会連携実践(担当:大津晶准教授)の本気プロ(小樽の活性化を本気で取り組む・通称マジプロ)も10年を迎え、2017年冬(1月～6月)のプロジェクト最終成果発表会を、7月9日(日)13:00から銭函のオーズ春香山ゆり園(春香山357)で開催。合わせて、これまでの事例紹介や、「銭函について学び、考えてみる」と題して銭函地区に詳しい4名の講師がトークセッションを行う。

2017年冬のプロジェクトの中で、銭函エリアを盛り上げる銭函地域のスタンプラリーを実施したことや、同大学の学生の6割以上が札幌から通学し、毎日素通りしているのはもったいないと銭函に親しみきっかけに、初めて同地区を会場に選んだ。

同園のゆりが開花する季節となり、花を楽しみながら、最終発表会に参加する市民を募っている。発表会は参加無料で、参加者には、ゆり園の入場料400円が半額となる特典がつく。

最終発表会のプログラム第1部(13:00～13:45)は、過去の本気プロの取り組みを紹介。

マジプロ2016夏のプロジェクトでは図書館と水族館を繋ぎきっかけ作りとなった事例、2016冬のプロジェクトでは、フードバンク活動をスタートさせ、履修終了後も、仲間や新入生を交えて「こども食堂」など、現在も継続的に行われている事例を、おたる水族館・神前和入学芸員やたのさばの職員からの話を盛り込み報告会を実施。

第2部(13:45～14:50)は、「小樽ときめきチャンネル」・「小樽と商大生を繋ぐ情報発信」たるぼーとの発行・「銭函エリア盛り上げます」の3つのプロジェクトの9名が参加し、1月から6月までの取り組みや成果を発表。

3部(15:00～16:45)は、「銭函について学び、考えてみる」をテーマに、北海道職業能力開発大学校・荒磯恒久校長や、株式会社マックアースリゾート北海道・飯田圭副支配人ら4名が、銭函について語り、その後、グループに分かれ「銭函について考えよう」とディスカッションを行う。

次回の2017夏は、8プロジェクト33名が参加を予定し、銭函の活性化を目的とした幅広いテーマの新プロジェクトを紹介する予定。終了は17:00頃を予定。

本気プロ最終発表会 7月9日(日)13:00～16:45

オーズ春香山ゆり園(春香山357)センターハウス内レストラン特設会場

申込・問合せ:0134-27-5479 小樽商科大学グローバル戦略推進センター(平日9:00～17:00)

◎関連記事1 ◎関連記事2 ◎関連記事3 ◎関連記事4

【商大生が小樽の活性化について本気で考えるプロジェクト】 最終成果発表会

銭函をマナブ

申込締切
7月7日(金)

銭函でまなぶ

日時

2017年7月9日(日)

13:00 - 16:45 (開場:12:30) 入退場自由

場所

オーズ春香山ゆり園

センターハウス内 レストラン特設会場 (小樽市春香町357)

※ 事前申込後、プログラムにご参加の方はゆり園の入場料が割引になります

小樽商科大学の正課科目である「本気プロ」は、学生が自ら考え行動して、小樽の活性化を目指し、取り組む6か月間のプロジェクトです。

最終成果発表会の開催に合わせ、銭函のまちづくりに関わる皆様からお話を伺いながら、学生と共に「銭函について学び、考えてみる」場を作りたく考えています。

地域の皆様と学生が交流を深め、地域活性の新たな一歩を踏み出す機会を目指します。是非とも皆様お誘い合わせの上、ご来場ください。

一般公開 参加無料

プログラム

第1部 13:00～13:45

「本気プロ2017冬」これまでの事例紹介と成果について

第2部 13:45～14:50

「本気プロ2017冬」最終成果発表会

第3部 15:00～16:45

「銭函について学び、考えてみる」

トークセッション「銭函について学ぼう」

ゲスト 荒磯 恒久 <北海道職業能力開発大学校 校長>

飯田 圭 <株式会社マックアースリゾート北海道 副支配人>

酒井 隆行 <小樽市議会議員>

吉村 暢彦 <酪農学園大学特任研究員 FiveQuestionZ合同会社代表社員>

司会 大津 晶 <小樽商科大学 社会情報学科 准教授>

グループディスカッション「銭函について考えよう」



本気プロとは

「商大生が小樽の活性化について本気で考えるプロジェクト」の略称です。地域と大学の協働によって進められる学生が主役となった地域活性化プロジェクトです。

お申し込み・お問い合わせ

国立大学法人 小樽商科大学

グローバル戦略推進センター (担当:大津、小山田、永峰)

TEL:0134-27-5479(平日9:00～17:00) E-mail:k-oyamada@res.otaru-uc.ac.jp

